



ごみしよりしせつで働くおじさんの話 はたら

ごみしよりしせつは、一日中休みなくごみをもやしています。仕事は、8時間ずつ3交代でしています。しよきやくろの火が消えることは一日たりともありません。

わたしたちの仕事でこまることは、もえるごみの中に、もえないごみや、きけんなものが入っていることです。それをもやすと、きかい機械がこしょうすることがあるからです。

また、どんどんごみがふえてきて、このしせつでしよりしきれなくなる心配が出てきたので磐梯町に新しい最終しよ分場をつくりました。ごみをもやしたあとのはいや、もえないごみは最終しよ分場に運ばれてうめ立てられています。その土地も予定より早くいっぱいになってしまうかもしれません。

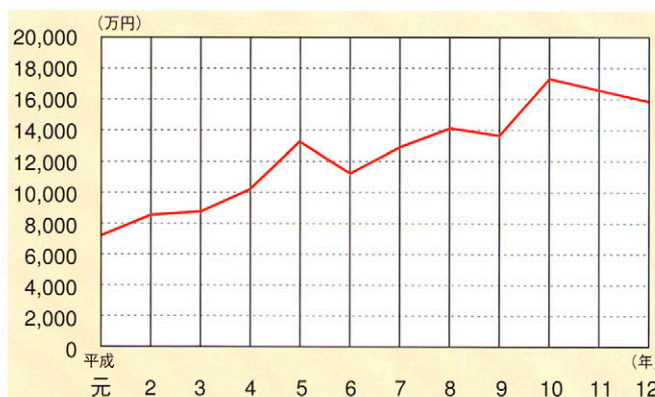
ごみを分別して、決まりを守って出してください。

このままごみがふえつづけると、ごみのしまつにかかるお金も年々多くなり、町にとっても大きなふたんになります。まだ使えるものは大切に使ったり、古新聞、段ボール、かんなどはリサイクルをしたり

してもう一度使うようにしていきたいものです。

ふだんの生活の中で、できるだけごみをへらすように気をつけていくことが大切です。

ごみのしよりにかかったお金



どうしてへってきたのかな。

